

# 湿地の生物観察とハッチョウトンボ米づくり

## オリエンテーション レポート

2012年5月19日(土) 09:00~12:00

天候: 晴れ 参加者数: 11組23人

さあっ 2012年バージョンの始まりです!  
さまざまな生きものがすむ水田で、ハッチョウトンボ米(古代米)を育てるために集まったメンバーのなかには、なつかしい顔と新しい顔が。  
昨年の作業と成果をふりかえったのち、古代米や弥生人が古代米を食べた土器の解説がありました。



姉妹かな? 親子かな?



1800年前のホンモノの土器だって!

オリエンテーションのあとは、いよいよ現地作業です。水田に着くと、田植えにそなえて、泥踏みの開始です。裸足になった子供たちは水田に入り、元気よく泥を踏んでくれました。

しばらくすると…「イモリじゃ〜!」「トノサマガエルじゃ〜!」子供たちは沢山の生物がいることに気付きはじめました。そう!これこそが冬の間も水をたたえた水田がもつ、生物をはぐくむ実力なのだよ!! どうよ、すごかろお〜!?



やったるでえ〜!!

